

Debian Stretch の インプットメソッドの現状

Ubuntu Japanese Team
LibreOffice日本語チーム
あわしろいくや





自己紹介

- あわしろいくや
- Ubuntu Japanese Team/LibreOffice 日本語チーム
- Ubuntu/LibreOffice/Fcitx/VirtualBox/MATE/Budgie 翻訳者
- IM 歴は 13 年
- ただの一般人
- Debian を使っていたのは Woody/Sarge/Etch の頃ですすみません…
…。
- 前に喋ったのは 3 年前？





おことわり

- 今回は思いっきり評論家モードです。すみません。
- 評論家は嫌いです。





事前課題

- tasks
- alternatives
- すなわちこの辺の解説はしません
 - とういか誰か tasks の解説をしてください
 - Ubuntu では使っていないのでよく知りません……



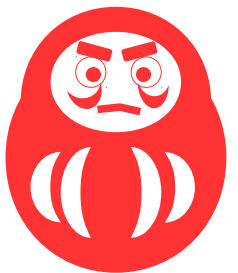


アンケート

- お使いのインプットメソッドは？
 - uim
 - IBus
 - Fcitx
- 変換エンジンは？
 - Mozc
 - Anthy
 - SKK
 - その他

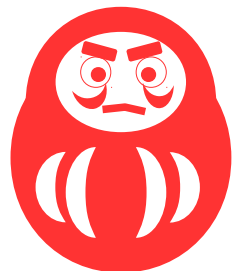


インストールと実行編



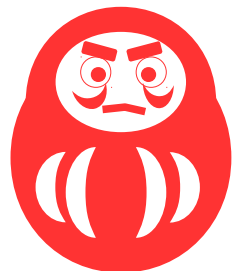
パッケージがインストールされる仕組み①

- インストール時に選択する言語とデスクトップ環境で変わる



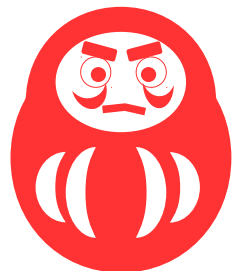
パッケージがインストールされる仕組み②

- 日本語関連のtasksは次の4つ
 - task-japanese
 - インストール時に日本語を選択するとインストールされる
 - manpages-ja, lv, fbterm, unifont, nkf, manpages-ja-dev
 - task-japanese-desktop
 - インストール時に日本語とデスクトップ環境を選択するとインストールされる
 - firefox-esr-l10n-ja | firefox-l10n-ja, fonts-vlgothic, fonts-ipafont, uim, uim-anthy, uim-mozc, mozc-utils-gui, anthy, libreoffice-l10n-ja, libreoffice-help-ja, poppler-data



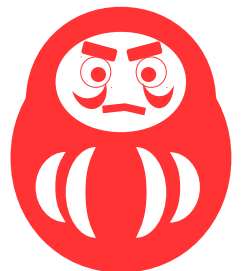
パッケージがインストールされる仕組み③

- task-japanese-gnome-desktop
 - インストール時にGNOMEを選択するとインストールされる
 - uim-applet-gnome, icedove, icedove-l10n-ja
- task-japanese-kde-desktop
 - インストール時にKDEを選択するとインストールされる
 - kde-l10n-ja, plasma-widget-uim
- im-configはlibuim-dataに引っ張られてインストールされる
- Ubuntuは全く異なった仕組みを採用している
 - language-support

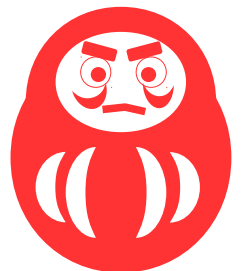


自動実行の仕組み

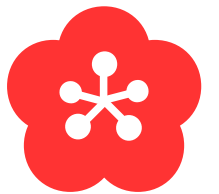
- im-config
 - 番号が若いほうが優先的に起動する
 - /usr/share/im-config/
 - data/21_ibus*
 - data/22_fcitx*
 - data/24_uim*



インプットメソッドの切り替え

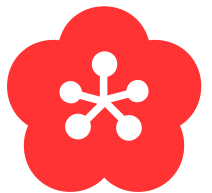


各デスクトップ環境編



GNOME Shellの場合

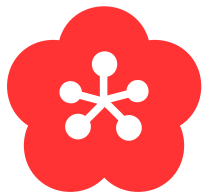
- 英語キーボードと日本語キーボードが認識されている
 - 英語キーボードが認識されないこともあった
- 半角/全角キーを押すと日本語の入力は可能である
- uimのステータスは全くわからず
 - uim-toolbarプロセスはある
 - /usr/bin/uim-toolbarはalternativesで管理されている
 - `sudo update-alternatives --config uim-toolbar`で変更可能
 - /usr/bin/uim-toolbar-gtk3-systrayの優先度がもっとも高い
 - デスクトップ環境ごとに替えるものをalternativesで管理するのは控えめに言って筋が悪い
 - そもそもGNOMEはこの手のsystemtrayには対応していない
 - `uim-gtk3: uim systray not appearing in gnome shell #34`
 - `gnome-shell-extension-top-icons-plus`をインストールして有効にする
 - 有効にしてもシステムトレイは表示されない。起動のタイミングが早すぎる？
 - ステータスはわからないので、uim-toolbar-gtk3を使用するのが現実的



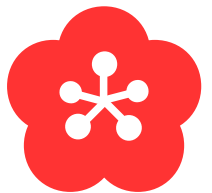
uim-toolbarのalternatives

```
ikuya@debian-stretch: ~  
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)  
ikuya@debian-stretch:~$ sudo update-alternatives --config uim-toolbar  
[sudo] ikuya のパスワード:  
alternative uim-toolbar (/usr/bin/uim-toolbar を提供) には 7 個の選択肢があります。  
  
  選択肢      パス                                優先度  状態  
-----  
* 0            /usr/bin/uim-toolbar-gtk3-systray    90      自動モード  
  1            /bin/true                             -100    手動モード  
  2            /usr/bin/uim-toolbar-gtk             60      手動モード  
  3            /usr/bin/uim-toolbar-gtk-systray     70      手動モード  
  4            /usr/bin/uim-toolbar-gtk3            80      手動モード  
  5            /usr/bin/uim-toolbar-gtk3-systray    90      手動モード  
  6            /usr/bin/uim-toolbar-qt4              50      手動モード  
  7            /usr/bin/uim-toolbar-qt5              40      手動モード
```

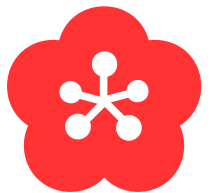
現在の選択 [*] を保持するには <Enter>、さもなければ選択肢の番号のキーを押してください:



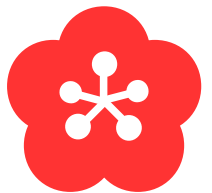
GNOMEの起動直後



top-icons-plusを有効にした

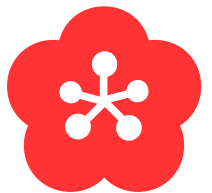


uim-toolbar-gtk3を表示した

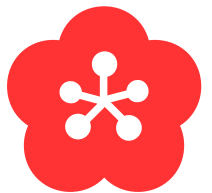
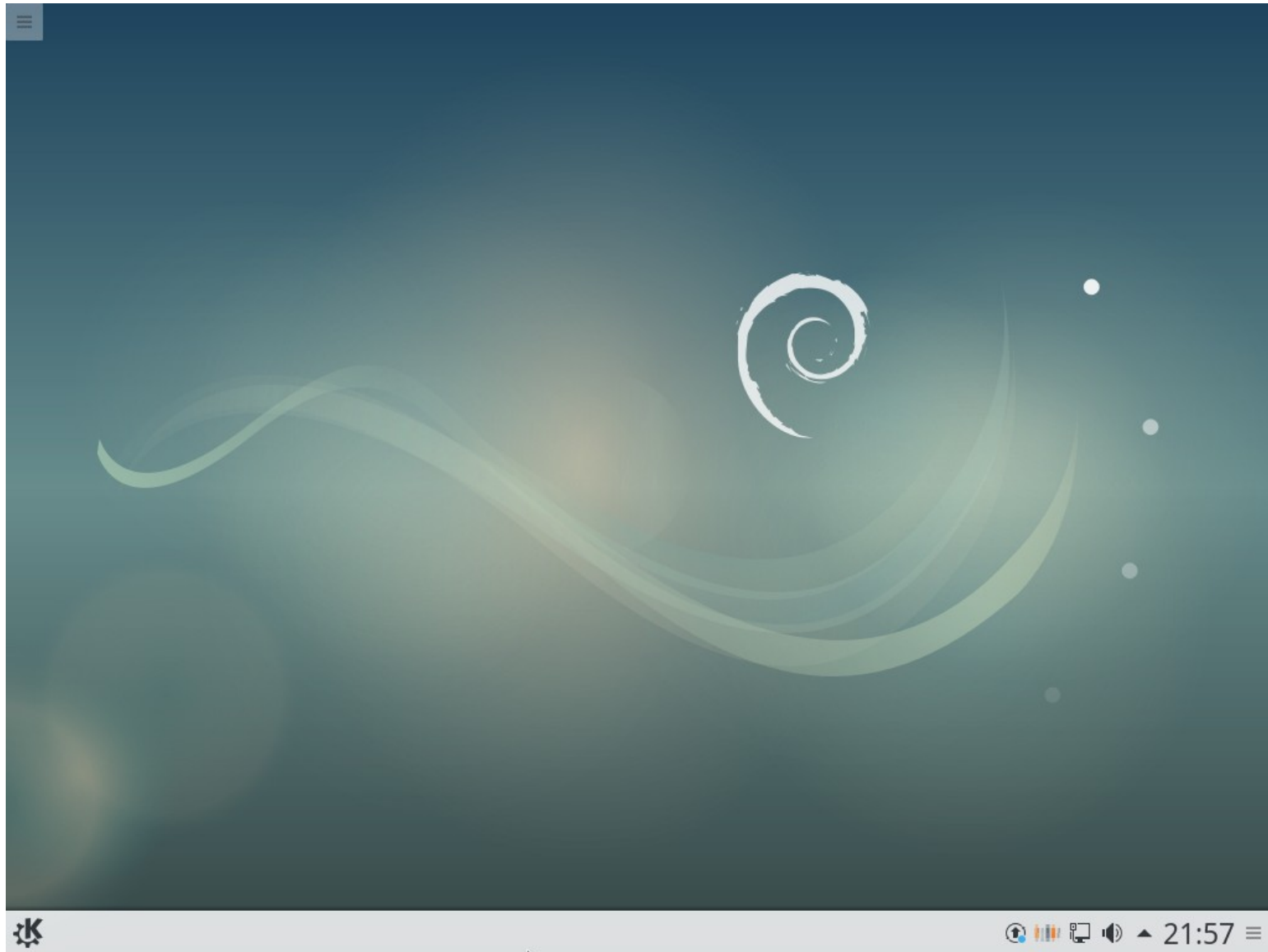


KDE Plasmaの場合

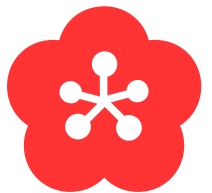
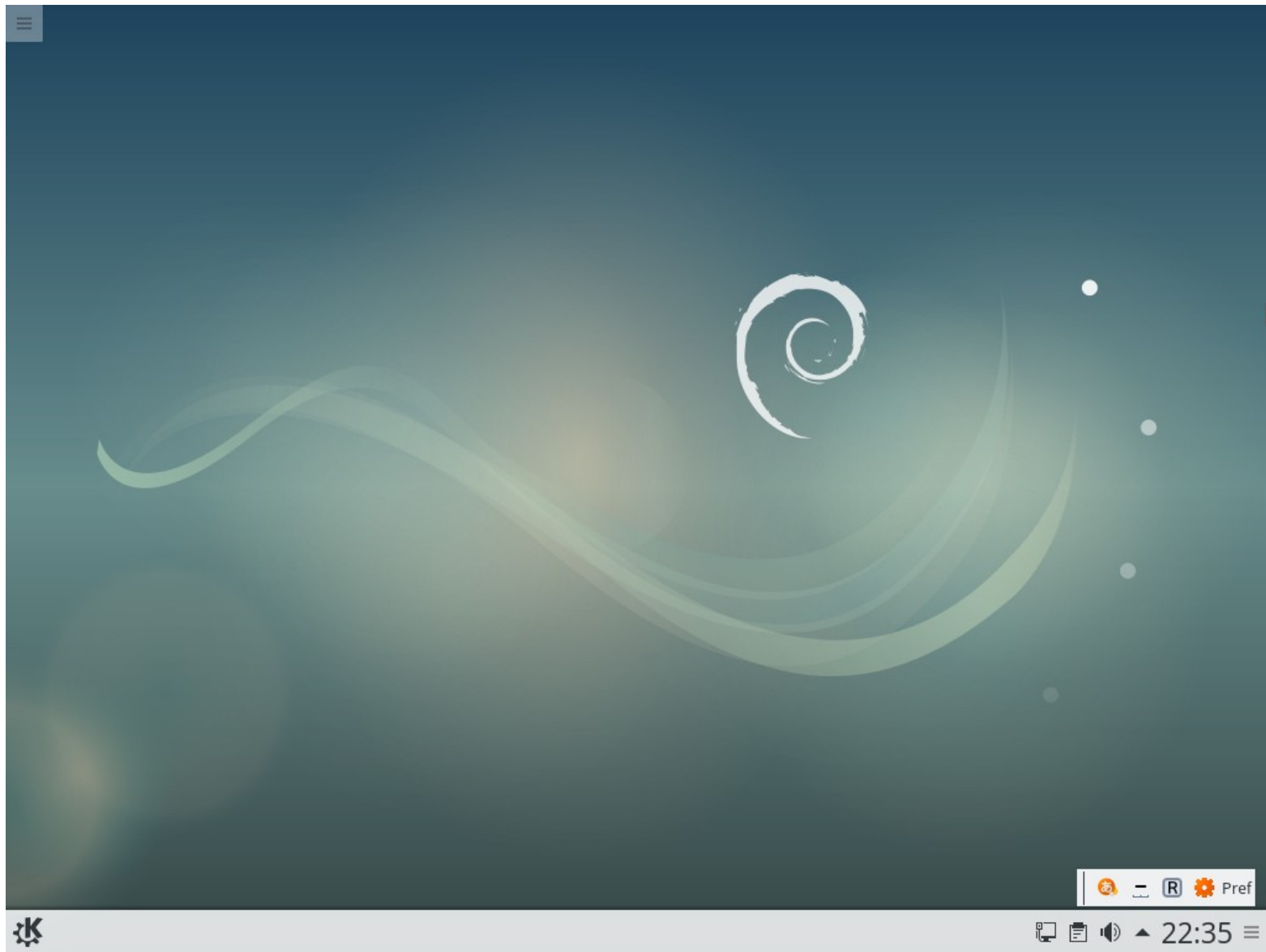
- uim-toolbarが自動起動するけど小さすぎて見えない
 - 実体はuim-toolbar-gtk3-systray
 - アイコン1つ分に超絶圧縮されているっぽい
 - uim-toolbar-gtk3に切り替えるのが妥当？
- plasma-widget-uimがインストールされているにもかかわらず追加できるウィジェットに表示されない
 - KDE SC 4向けだから？
 - Debian JessieのKDE SC 4では普通に動作する
 - 実はLibreOfficeでもQt5サポートはできていない



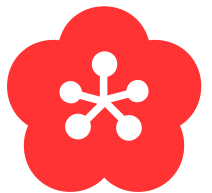
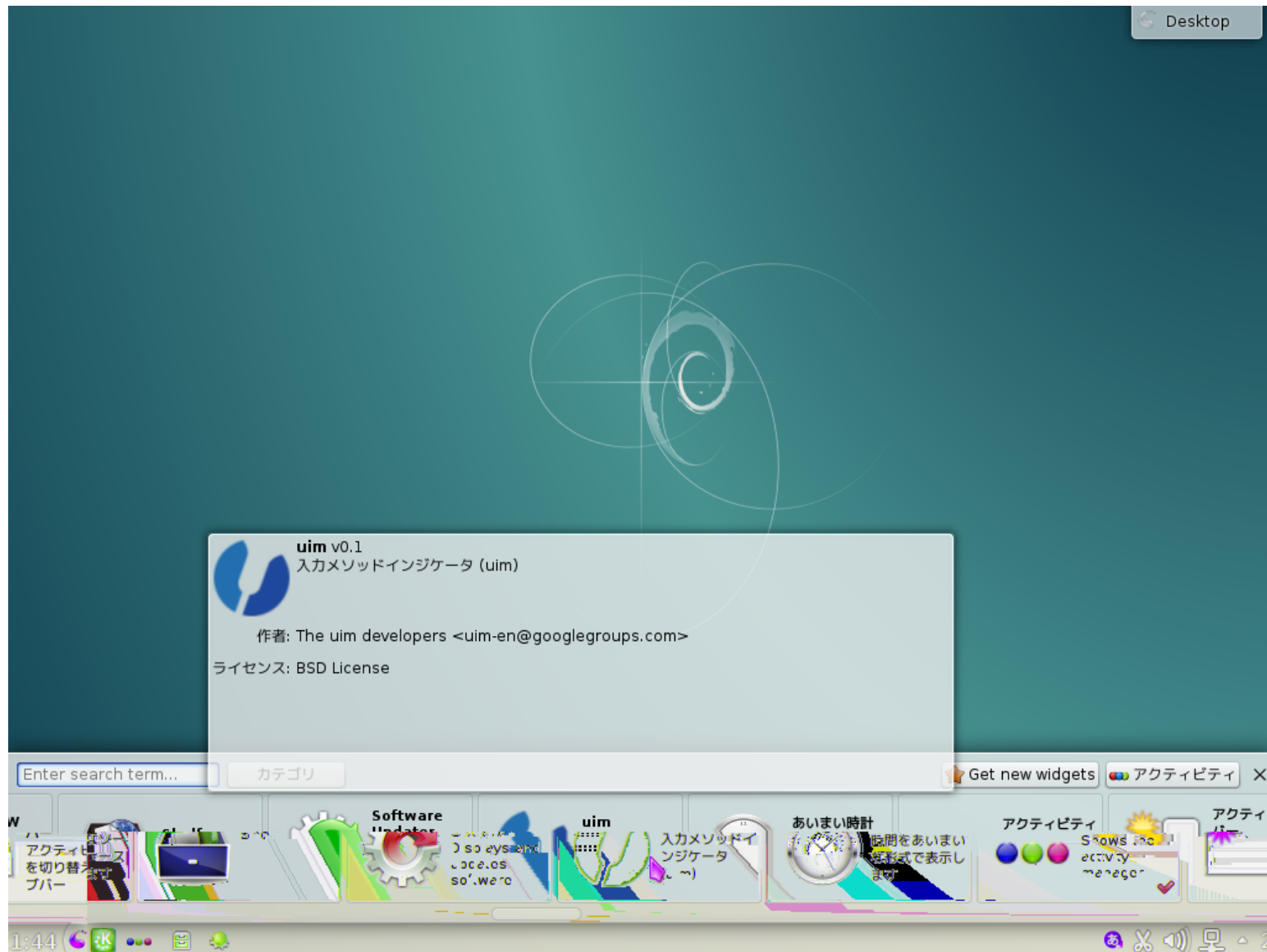
KDE SCの起動直後



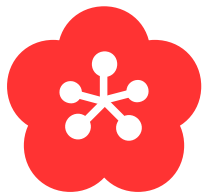
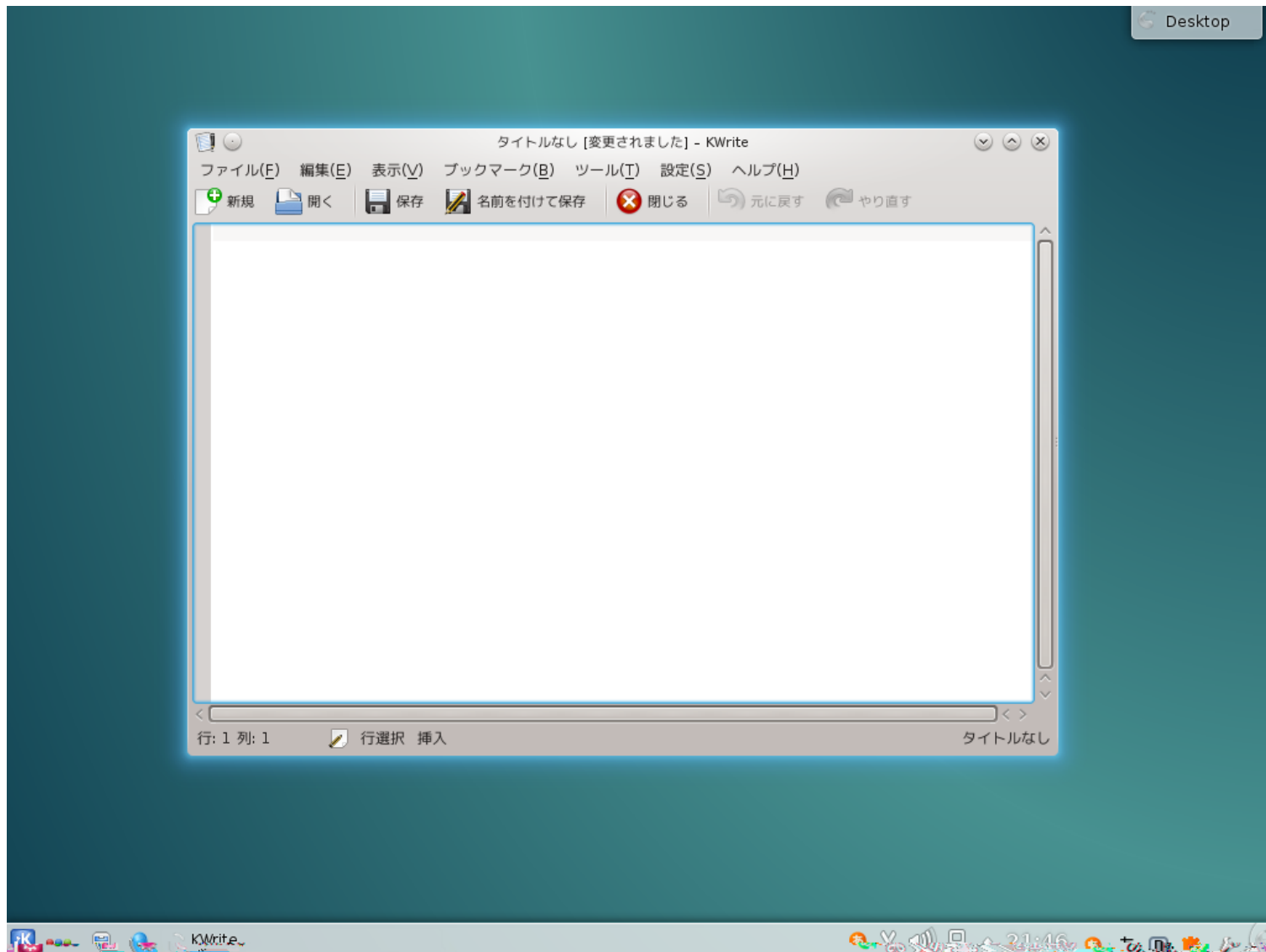
uim-toolbar-qt5を表示した



Debian JessieのKDE4①

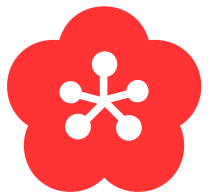


Debian JessieのKDE4②

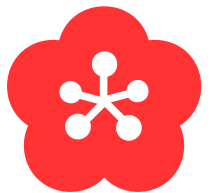
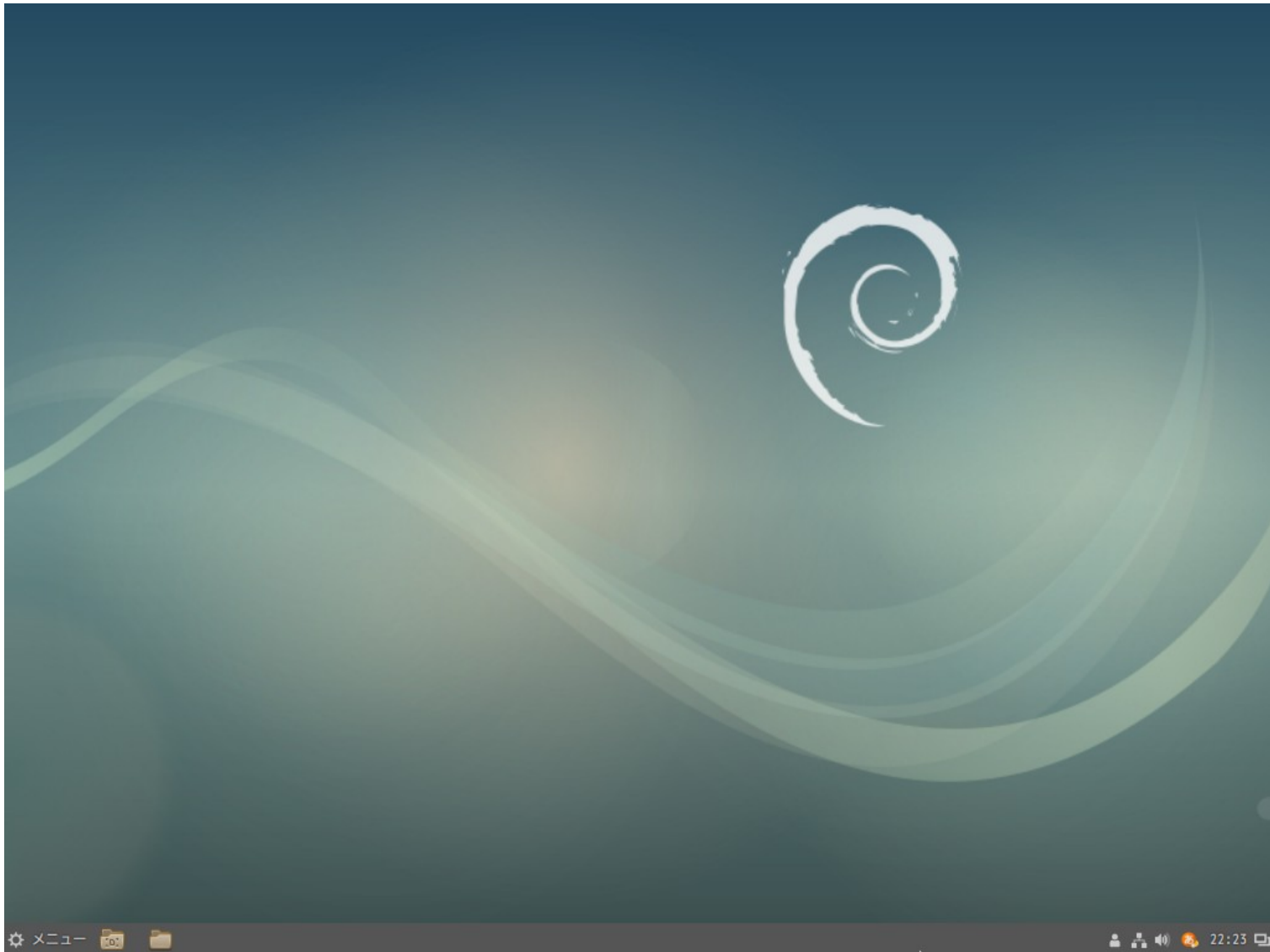


Cinnamonの場合

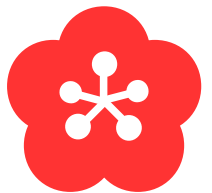
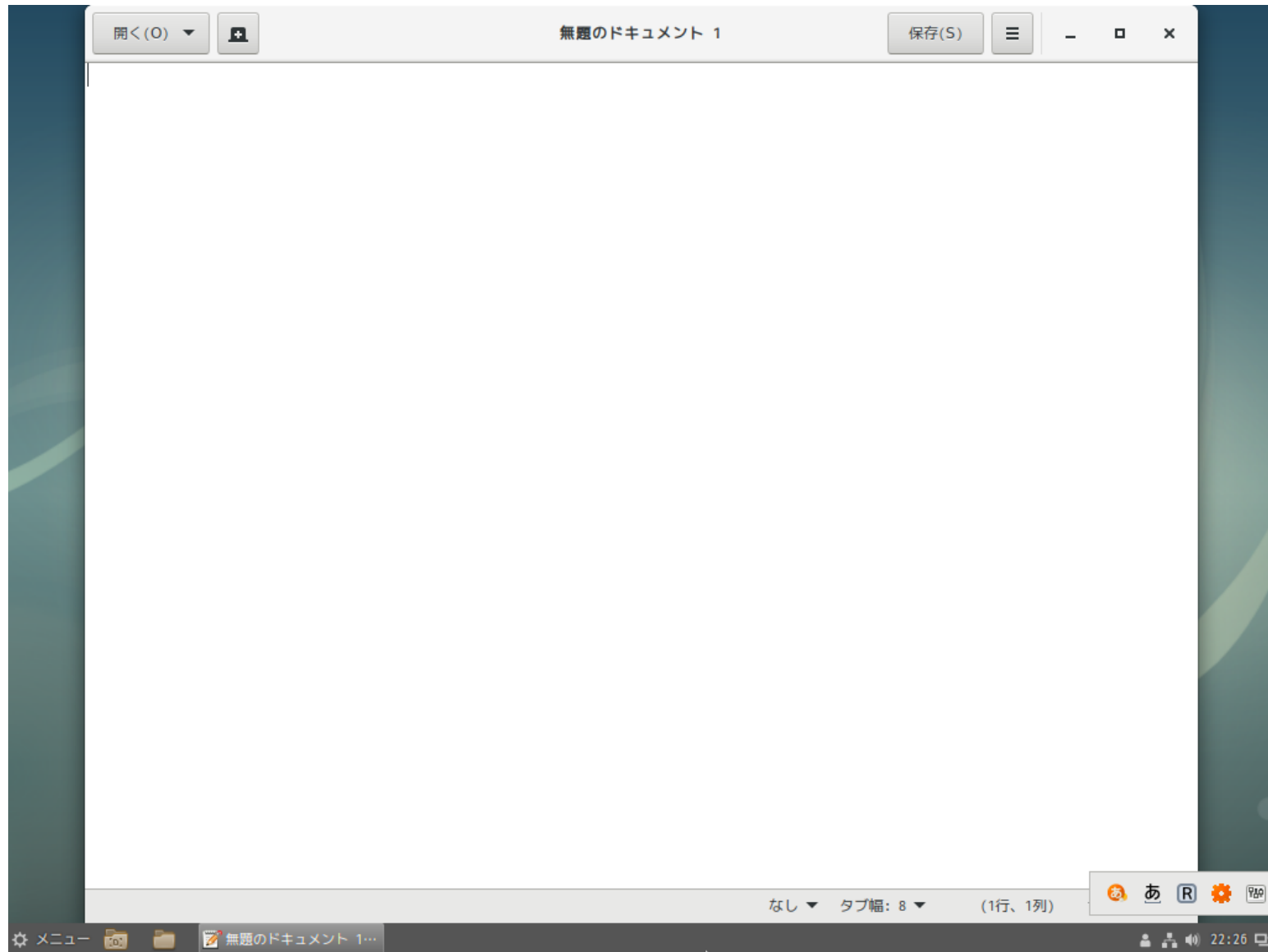
- uim-toolbar(-gtk3-systray)が起動して、右下に表示される
 - オン/オフがわからない
 - uim-toolbar-gtk3に切り替えるのがよさげ



Cinnamonの起動直後

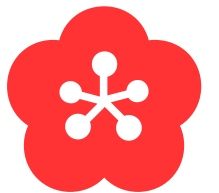


Cinnamonでuim-toolbar-gtk3を表示した

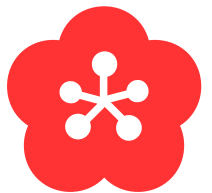
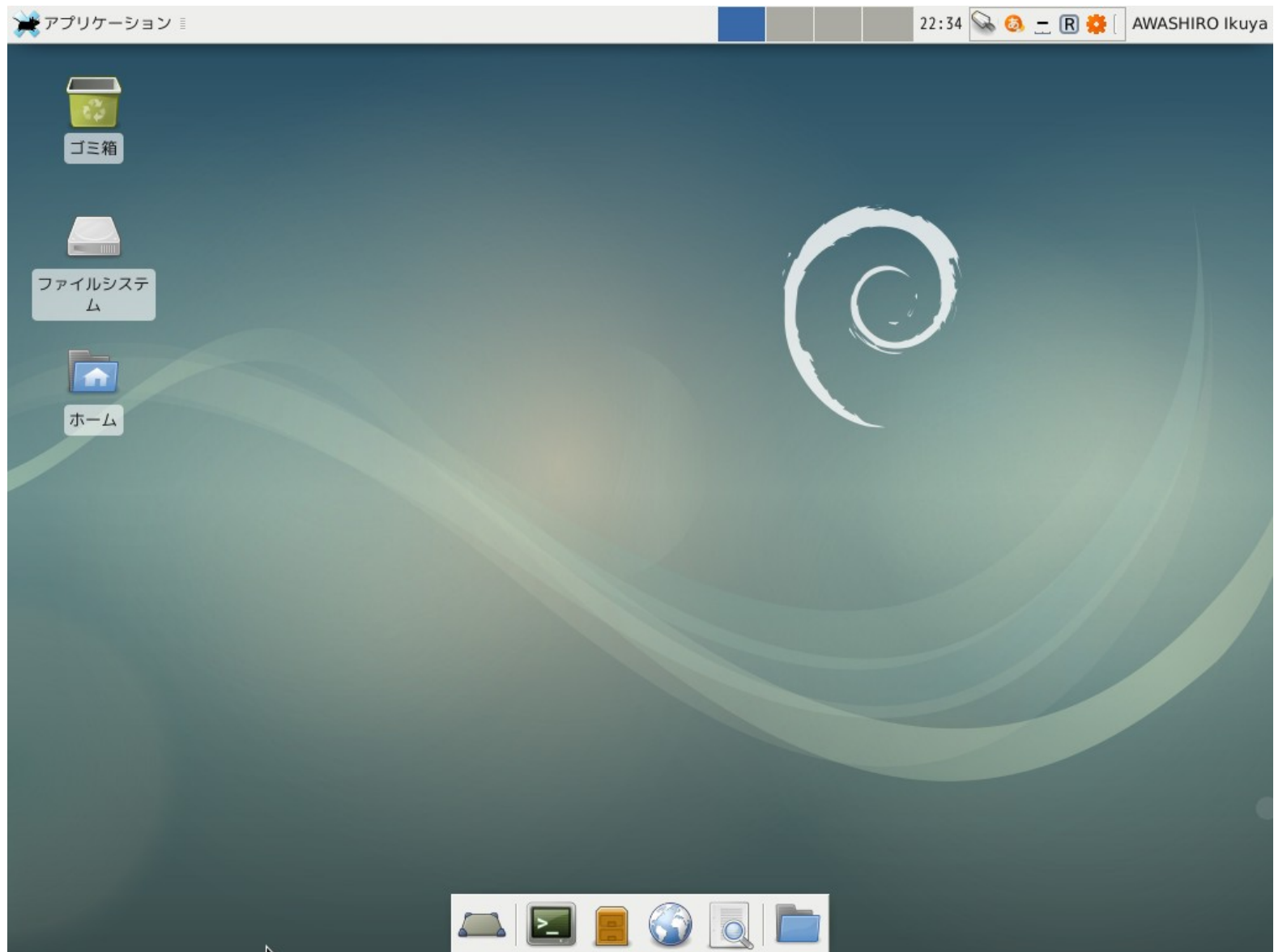


Xfceの場合

- MATEやLXDEも同様と思われる
- 文句なし
- uim-toolbar-gtk3-systrayでもアイコン5つ分の幅を取る
 - 表示部分のGTK+のバージョンで挙動を変えている



Xfceの起動直後





まとめ





uimの問題

- GNOME Shell の問題
- KDE SC の問題
- Mozc の設定ツールが起動しない
 - mozc-utils-gui: Some menus won't work by strange error
 - protobuf: please fix static initialization problem with dlopen





短期的な修正

- task-japanese-gnome-desktop を修正する
 - gnome-initial-setup の追加
 - IBus 関連パッケージの追加
 - IBus と uim がインストールされている場合、前者が優先される
 - icedove と icedove-l10n-ja の変更
 - せっかく名前が戻ったのですから……
- im-config を修正する
 - デスクトップ環境に応じた toolbar を起動するように





24_uim.rcのサンプルコード

```
# Starting GUI
if [ "$XDG_CURRENT_DESKTOP" = "GNOME" ]; then
    uim-toolbar-gtk3 &
elif [ "$XDG_CURRENT_DESKTOP" = "KDE" ]; then
    uim-toolbar-qt5 &
elif [ "$XDG_CURRENT_DESKTOP" = "X-Cinnamon" ]; then
    uim-toolbar-gtk3 &
else
    uim-toolbar &
fi
```





長期的な修正①

- uim から IBus に移行する
 - uim のメンテナンスがすごく大変
 - 新しいツールキット (Qt5/GTK+4) の対応がしんどい
 - GNOME Shell/KDE Plasma 対応も
 - なぜ IBus か？
 - よくメンテナンスされている
 - Mozc がきちんと動作する
 - Wayland など新しいものもサポートする
 - Qt5 サポートは考えなくていいので楽
 - ibus-fbterm があれば fbterm でも日本語入力できる？
 - ただしパッケージになってない
 - 軽く試してみたけど、ibus-skk では使えそう……
 - skk は libskk をがんばろう
 - メンテナー募集中とのこと





長期的な修正②

- Fcitx は？
 - 現状 Wayland 非対応
 - ツールキットに Qt4 を使用している
 - いずれも次期バージョンで修正される見込み
- 全体を見る人を養成する
 - 個々を見る人はいても全体を見る人はいないのでバラバラな印象を受ける
 - マクロとミクロの視点があって、ゴールを設定できる人
 - Debian の仕組み上やむを得ない気はする



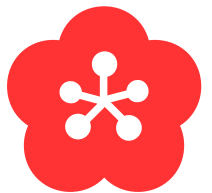


ほかの言語では？

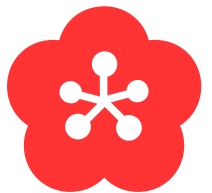
- 中国語（簡体字）は Fcitx
- 中国語（繁体字）は SCIM
- ハンゲルは IBus
- ほかの言語に乗っかるのも一つの手



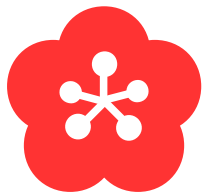
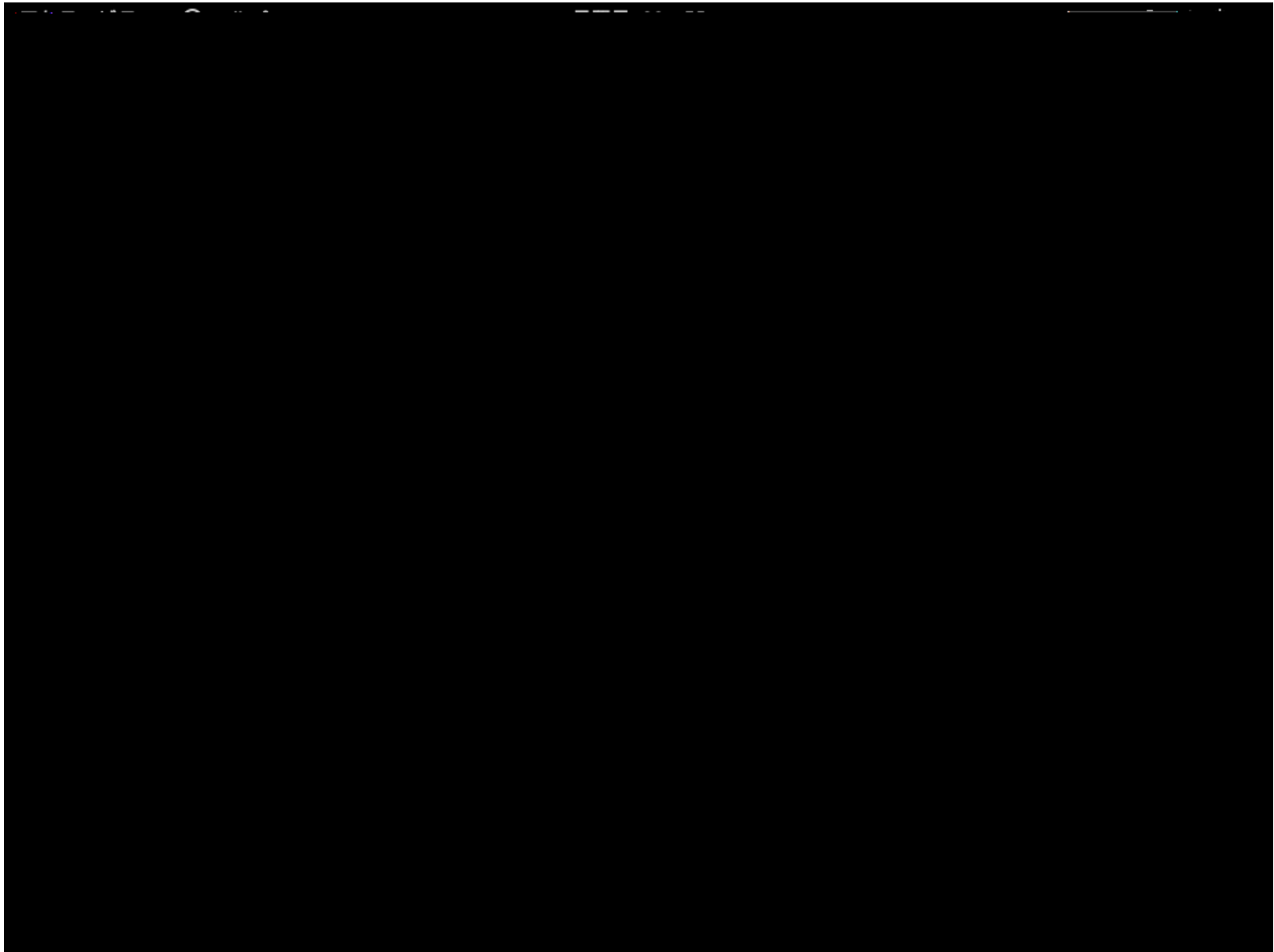
IBusと各デスクトップ環境①



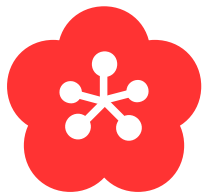
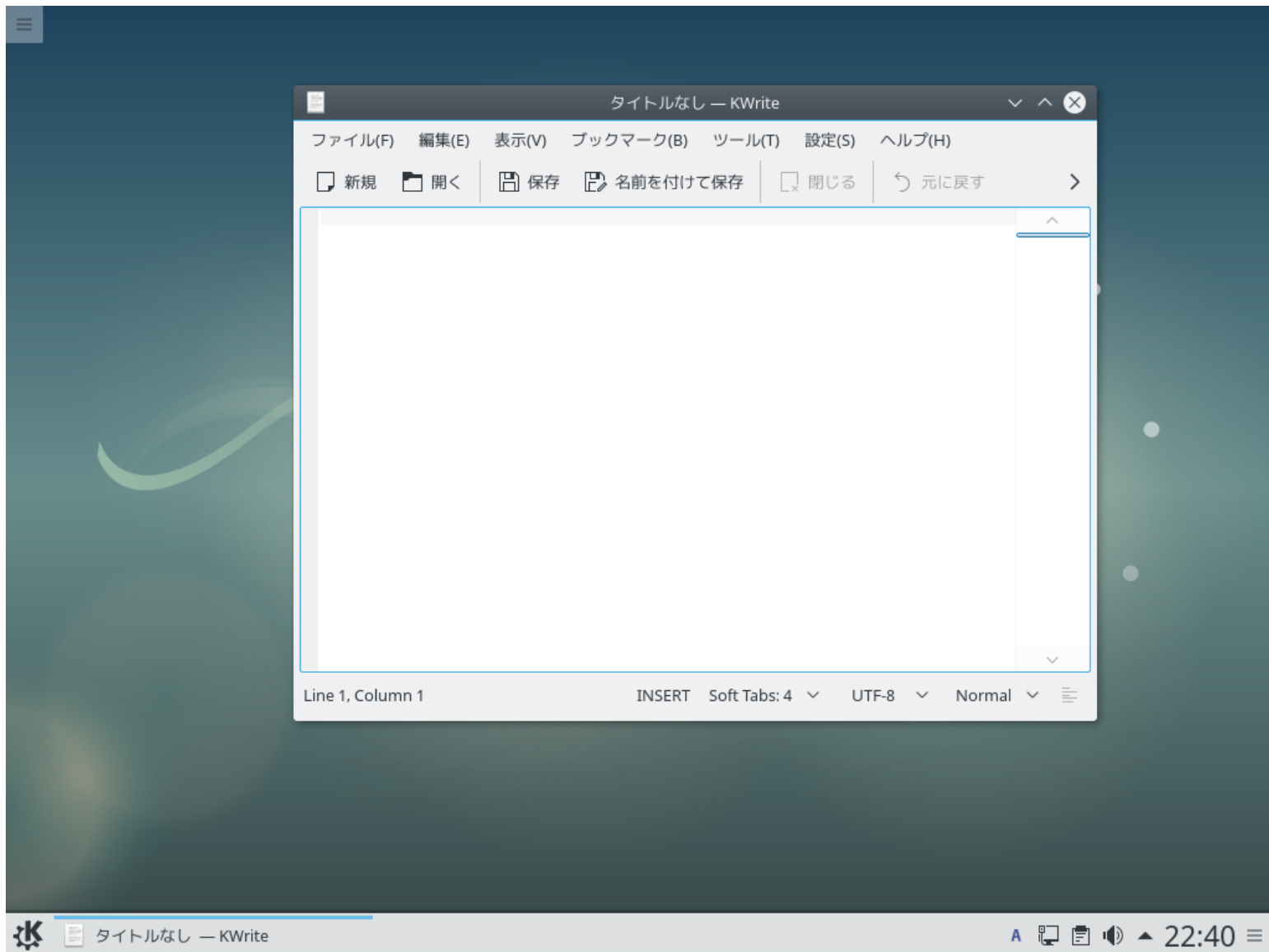
IBusと各デスクトップ環境②



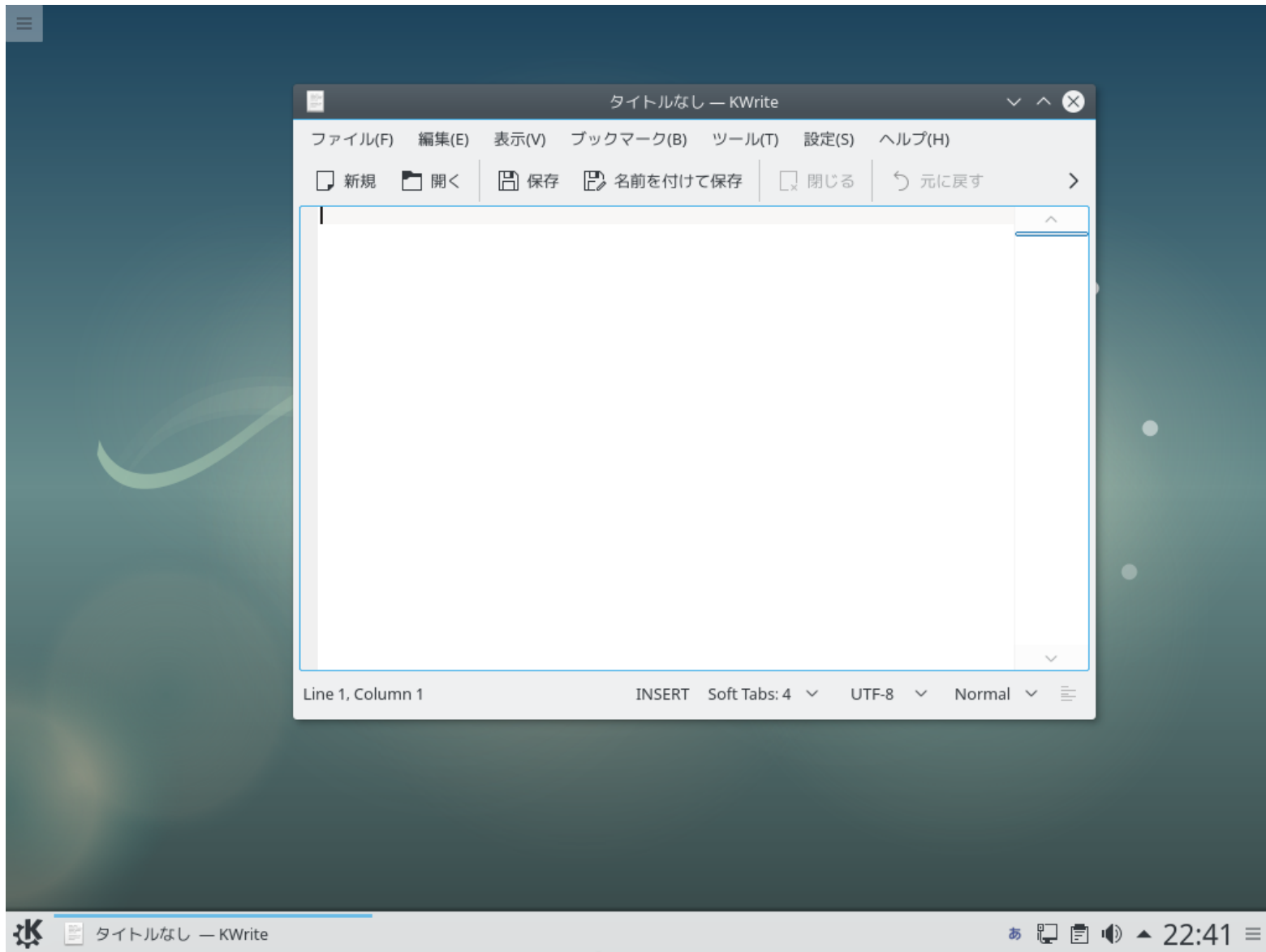
IBusと各デスクトップ環境③



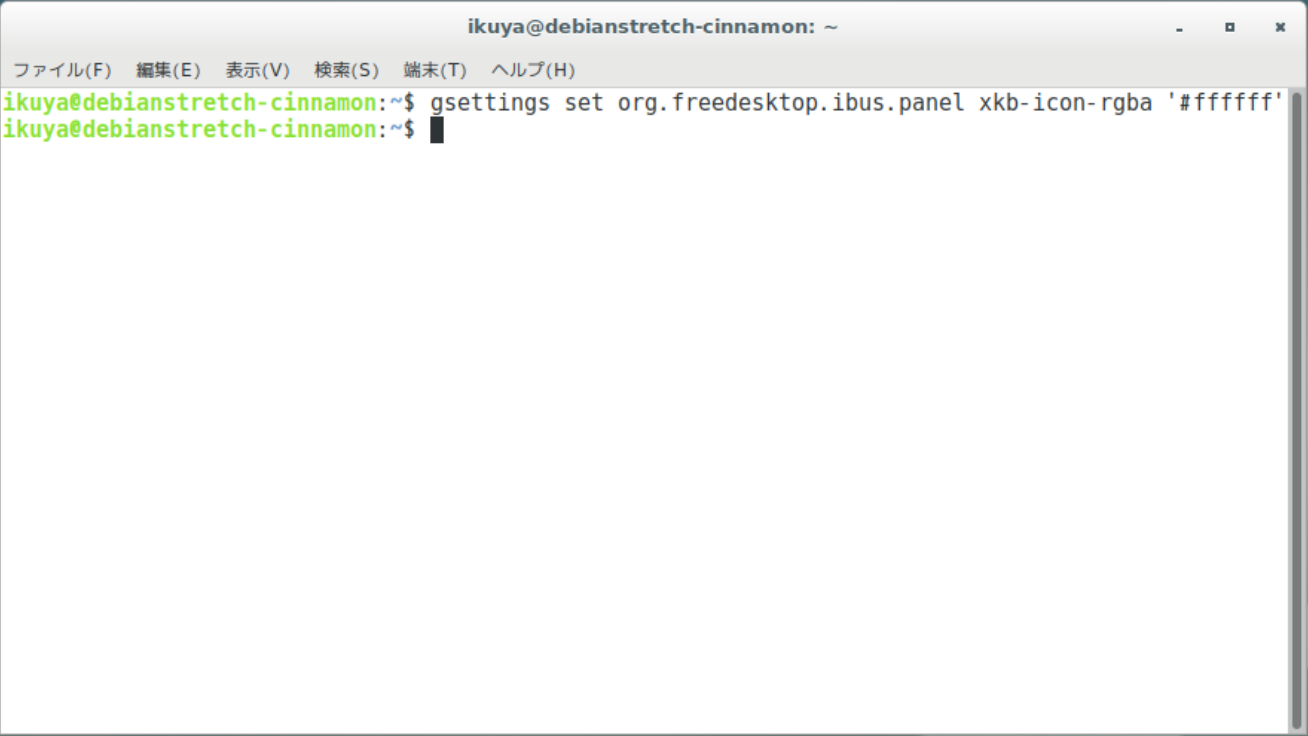
IBusと各デスクトップ環境④



IBusと各デスクトップ環境⑤

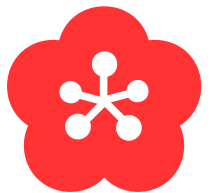


IBusと各デスクトップ環境⑥

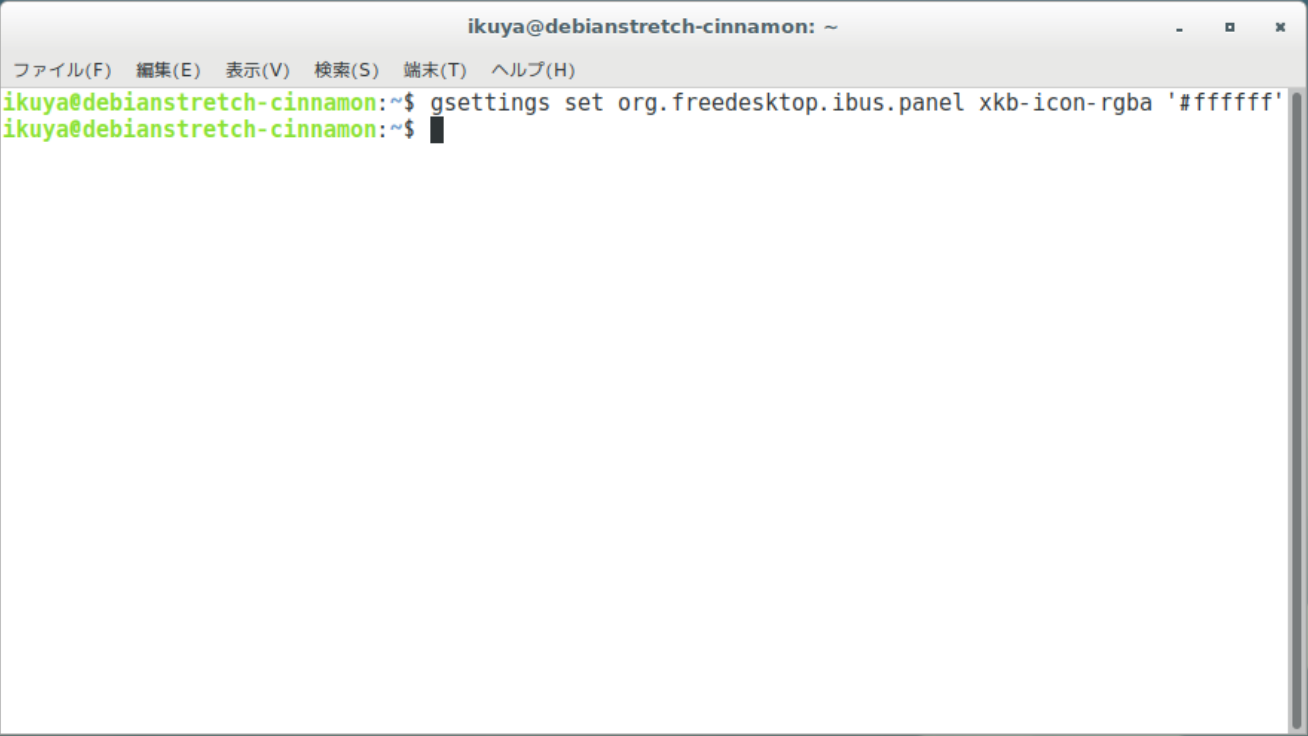


```
ikuya@debianstretch-cinnamon: ~  
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)  
ikuya@debianstretch-cinnamon:~$ gsettings set org.freedesktop.ibus.panel xkb-icon-rgba '#ffffff'  
ikuya@debianstretch-cinnamon:~$
```

The image shows a terminal window on a Debian Stretch Cinnamon desktop. The window title is "ikuya@debianstretch-cinnamon: ~". The terminal output shows the command `gsettings set org.freedesktop.ibus.panel xkb-icon-rgba '#ffffff'` being executed successfully. The desktop background is a dark teal color with a light green abstract pattern. The bottom panel shows the Cinnamon desktop environment with a menu icon, a folder icon, and a taskbar with the terminal window open. The system tray on the right shows the date and time as 22:48.

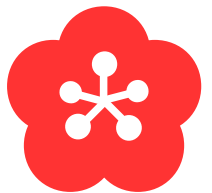


IBusと各デスクトップ環境⑦

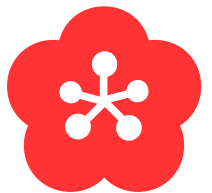
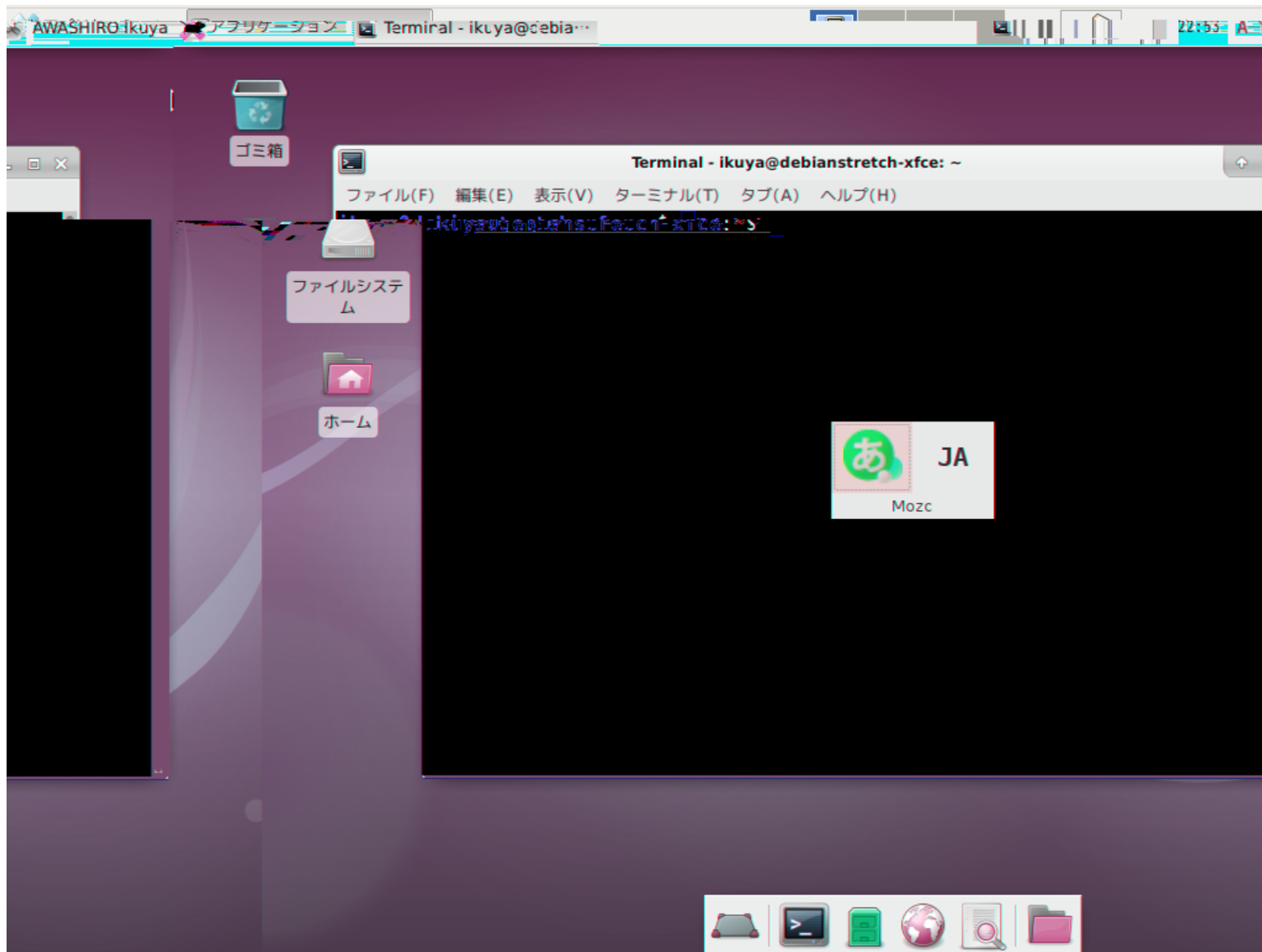


```
ikuya@debianstretch-cinnamon: ~  
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)  
ikuya@debianstretch-cinnamon:~$ gsettings set org.freedesktop.ibus.panel xkb-icon-rgba '#ffffff'  
ikuya@debianstretch-cinnamon:~$
```

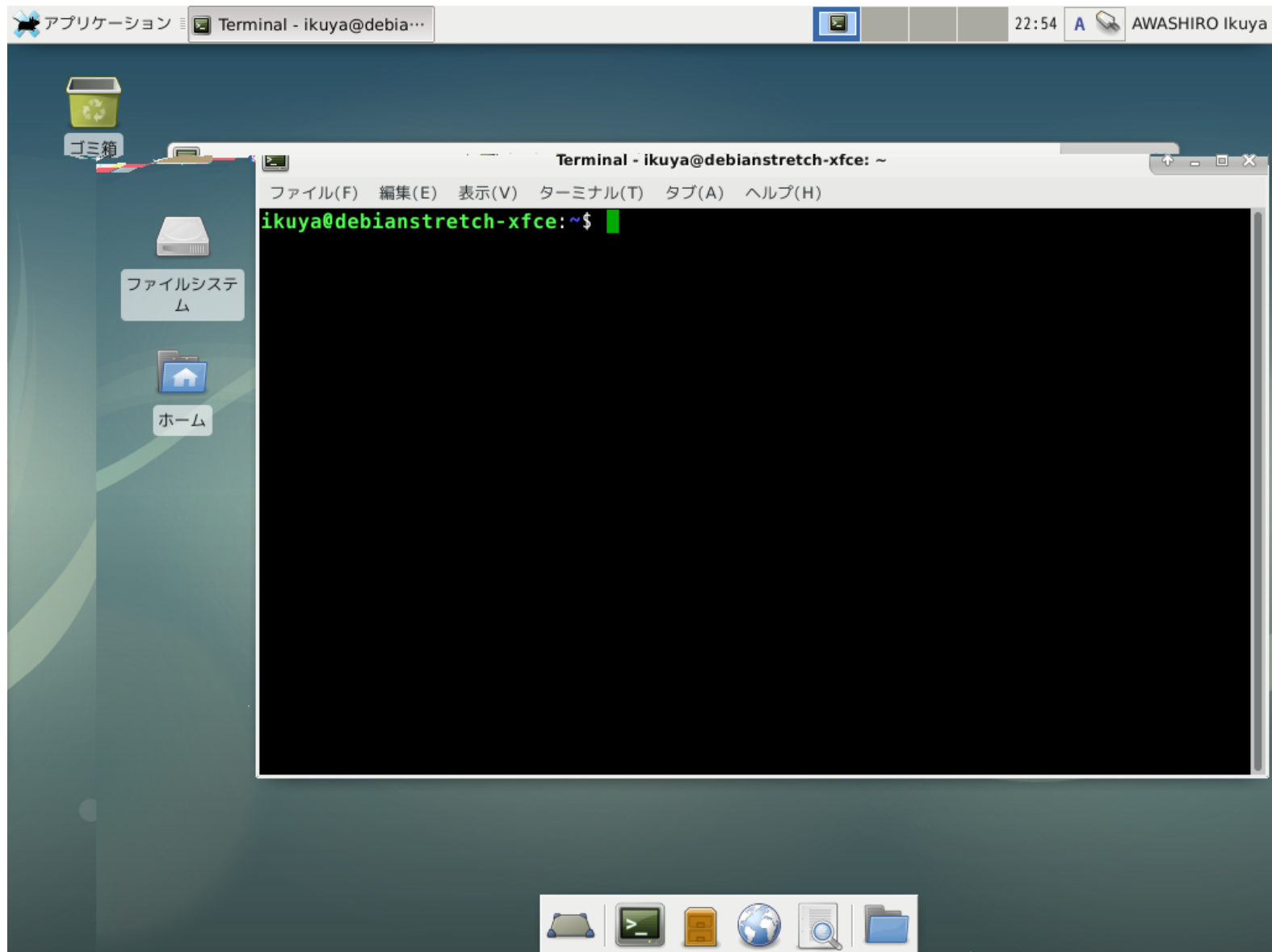
The image shows a terminal window on a Linux desktop environment. The window title is "ikuya@debianstretch-cinnamon: ~". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "検索(S)", "端末(T)", and "ヘルプ(H)". The terminal output shows the command "gsettings set org.freedesktop.ibus.panel xkb-icon-rgba '#ffffff'" being executed successfully. The desktop background is a dark teal color with a light green abstract pattern. The bottom panel shows a menu icon, a folder icon, and a taskbar with the window title "ikuya@debianstretc...". The system tray on the right shows icons for network, volume, and a clock displaying "22:48".



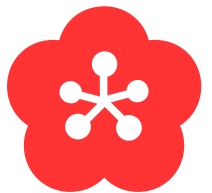
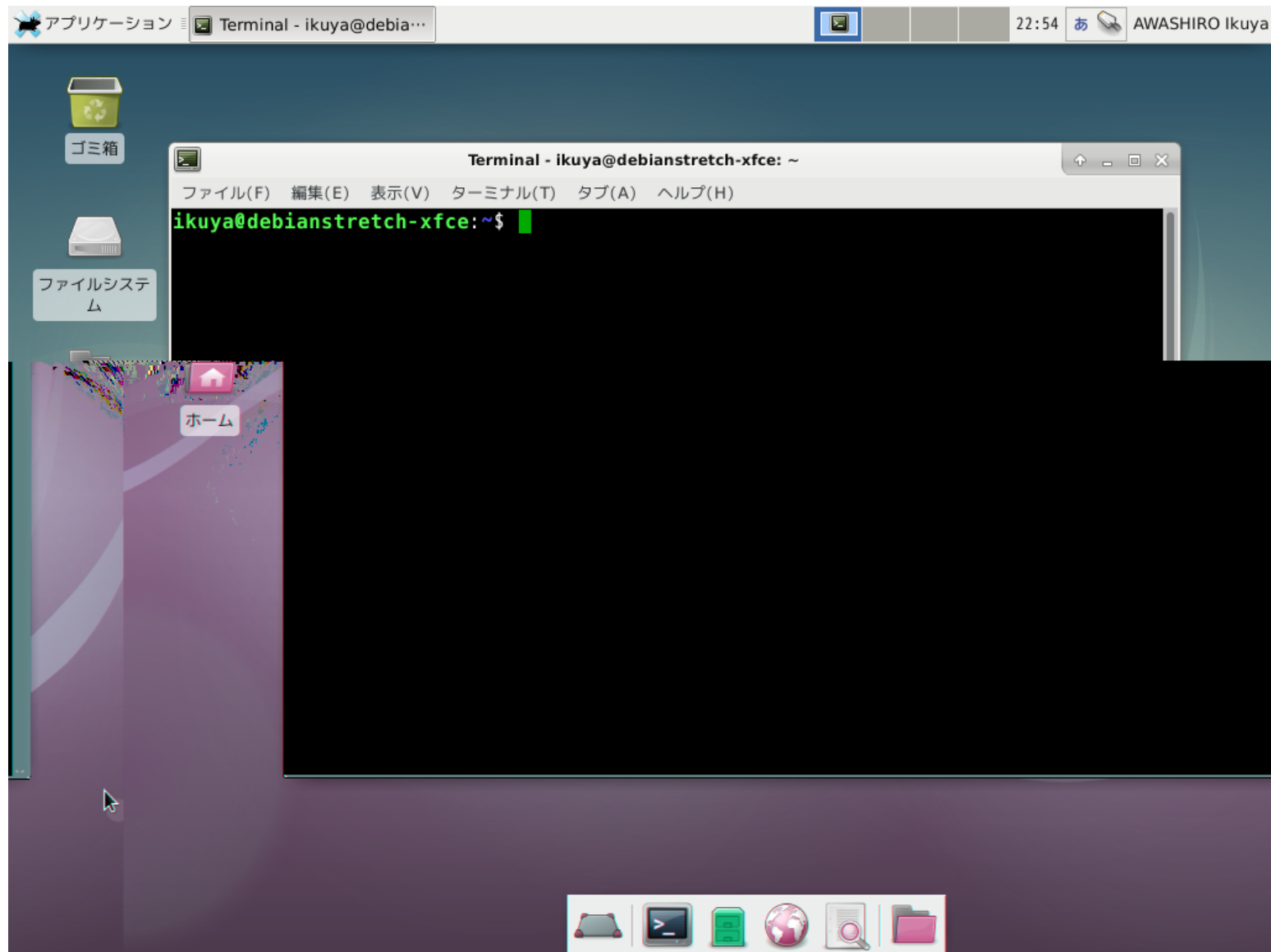
IBusと各デスクトップ環境⑧



IBusと各デスクトップ環境⑨



IBusと各デスクトップ環境⑩





おしまい

